

一般社団法人

自然エネルギー信州パートナーズ

ご説明資料
【太陽光発電編】



はじめに



私たちは太陽光発電を通じて

自然エネルギーを増やすだけでなく

地域を元気にします。

空いている屋根や土地をお持ちの方、
**ぜひ私たちの事業パートナー
になってください！**

太陽光発電にできること



収益が見込めます

電力の買取価格は20年間固定 (*1)となるため、初期投資回収後は一定の収益が見込めます。(*2)

環境にやさしい

- 化石燃料を使わない、環境にやさしい電力です。
- 枯渇や原料価格変動の影響を受けません。



**発電収入(*2)を地域振興や新たな雇用の創出に活用できます。
遊休土地を活用することで、里山の保全につながります。**

(*1) 10kw以上の太陽光発電で、全量販売した場合です。

(*2)電力会社との電力需給契約時期及び設置後の発電状況によって収益は変動します。

こんな土地・屋根を 探しています



中規模発電（50kw以上）向けの土地目安（*1）

- ✓200坪以上
- ✓南向きで日当たりがよい
- ✓20年（*2）以上借りることができる
- ✓近くに電柱がある

買取価格は縮小傾向。
早く事業開始した方が
初期投資回収が速まり、
収益UPのチャンスです！

電力の買取価格

（太陽光発電10kw以上の場合）

- 2012年…42円/kw
- 2013年…37.8円/kw
- 2014年…3月下旬決定予定

（*1）農地の場合、太陽光発電事業に転用できない場合があります

（*2）固定価格買取制度による10kw以上の太陽光発電の買取期間は20年間となります。

こんな心配はありませんか？



太陽光なんて
専門知識がなく
てもできるの？

せっかくの発電事業だから、
何か地域を活性化させる
アイデアはないかな？

申請や手続きが
面倒なんじゃ…

本当に採算が
とれるの？



**こんな疑問や不安、
私たちとともに解消しましょう!!**

地域が元気になる太陽光発電を 共に考えましょう



技術支援

- 知識と経験のあるスタッフが現地調査に伺い、発電の規模・コストなど最適な事業スタイルをご提案

資金調達支援

- 金融機関からの融資、おひさまエネルギーファンド(株) (*)との連携による市民出資など活用し、最適な資金調達をご提案

各種手続き支援

- 行政や電力会社との調整、申請手続き代行
- 事業計画書など資料作成のお手伝い

地域を
元気にする
仕組みづくり

- 地域ごとの環境や特性を生かした持続可能な事業モデル
- 売電収益を軸に、新たな産業や雇用が生まれる仕組み

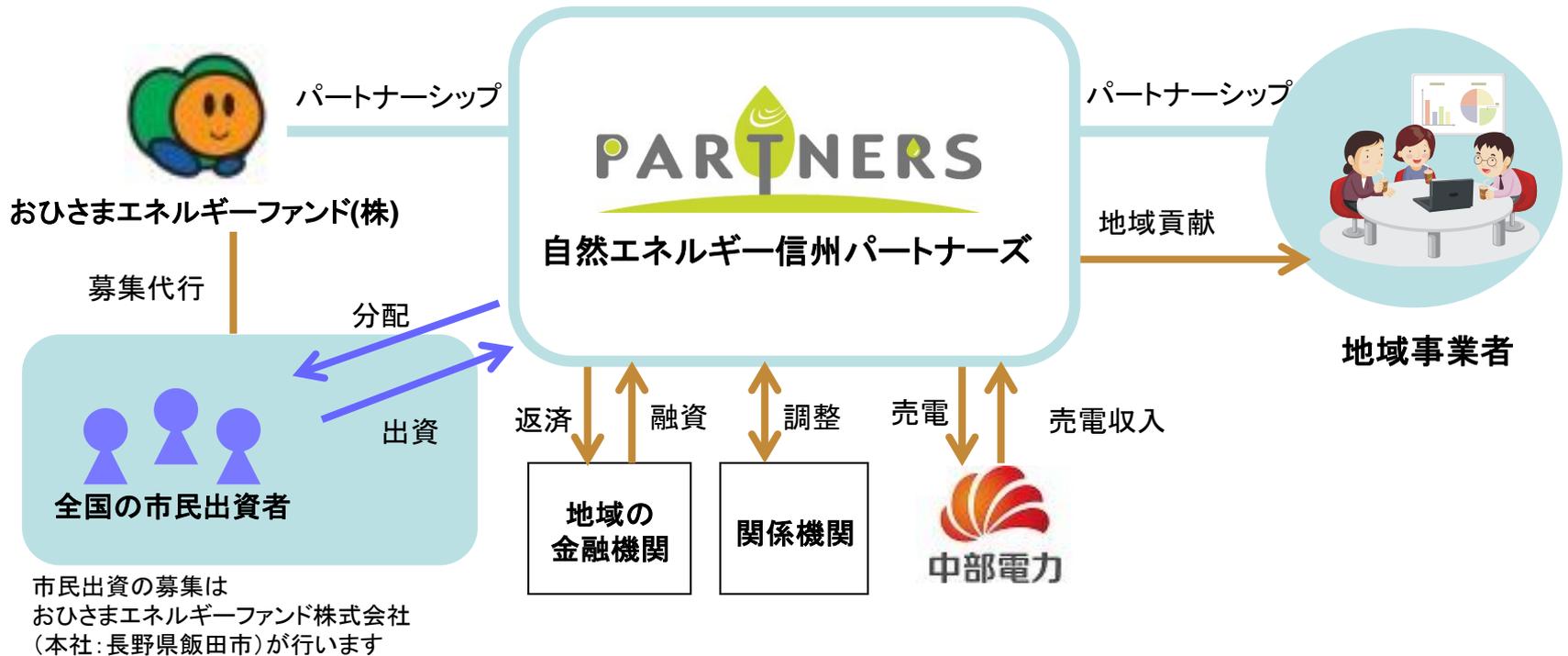
を共に考えてまいります。

(*)おひさまエネルギーファンド株式会社は、自然エネルギー事業に対する市民出資を運営する第二種金融商品取扱い業者です。

基本の事業スキーム



市民出資等を活用した地域自然エネルギー事業



自然エネルギー 信州パートナーズ事業概要



- ◆名称 : 一般社団法人 自然エネルギー信州パートナーズ
- ◆設立日 : 2013年10月2日
- ◆所在地 : 長野県長野市
- ◆経営体制:
 - 代表理事 鈴木 純一
 - 理事 栗田 力
 - 理事 山本 永
 - 理事 小田切 奈々子
 - 監事 原 亮弘

- ◆関連団体: 自然エネルギー信州ネット
おひさまエネルギーファンド株式会社

- ◆協力団体: 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所

【主な事業内容】

- ・市民共同による発電事業の企画・調査・開発支援
- ・薪ボイラー、ストーブなど熱利用設備の設計・導入支援 など

以下、補足資料

再生可能エネルギー固定価格 買取制度とは



- 再生可能エネルギー(*)で発電された電気を、その地域の電力会社が一定期間・一定価格で買取する制度

(*) 風力、太陽光、地熱、水力(3万kw未満)、バイオマス(紙パルプ等の既存の用途に影響のないもの)

- 太陽光発電買取の概要 (自然エネルギー庁「再生可能エネルギー固定価格買取制度ガイドブック」より)

太陽光発電	買取価格	買取期間	申請に要する時間の目安	
			経産省への設備認定手続き	電力会社との協議(*1)
10kW以上	37.8円 (税抜36円)	20年間	約1ヶ月	10~50kw未満 : 約1ヶ月 50kw以上500kw未満 : 約2ヶ月 500kw以上 : 約3ヶ月
10kW未満 (余剰買取)	38円(税込)	10年間		約1ヶ月
10kW未満 (余剰買取・ダブル発電)(*2))	31円(税込)	10年間		

(*1)50kw以上の発電の場合、電力会社への正式なアクセス協議は有償となります。(約21万円)

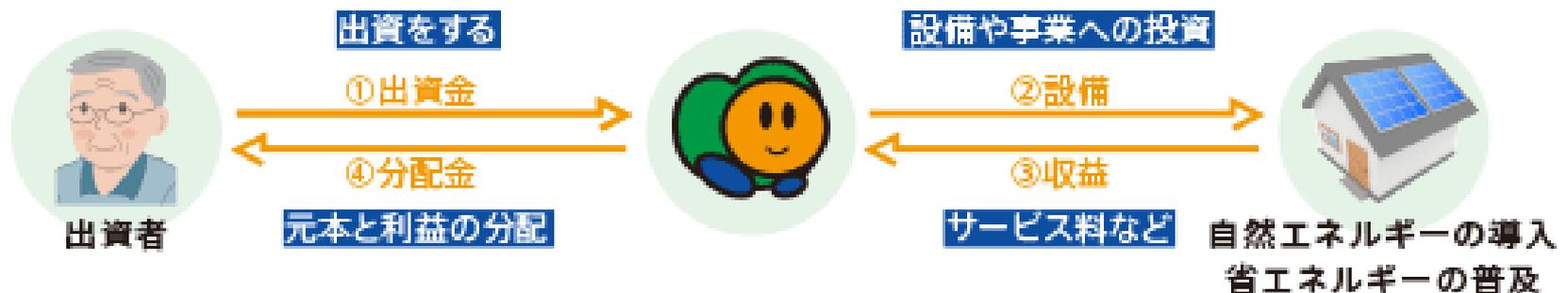
(*2)ダブル発電とは、自家発電設備と太陽光発電双方を設置しているケースです。

おひさまエネルギーファンドの コンセプトと仕組み



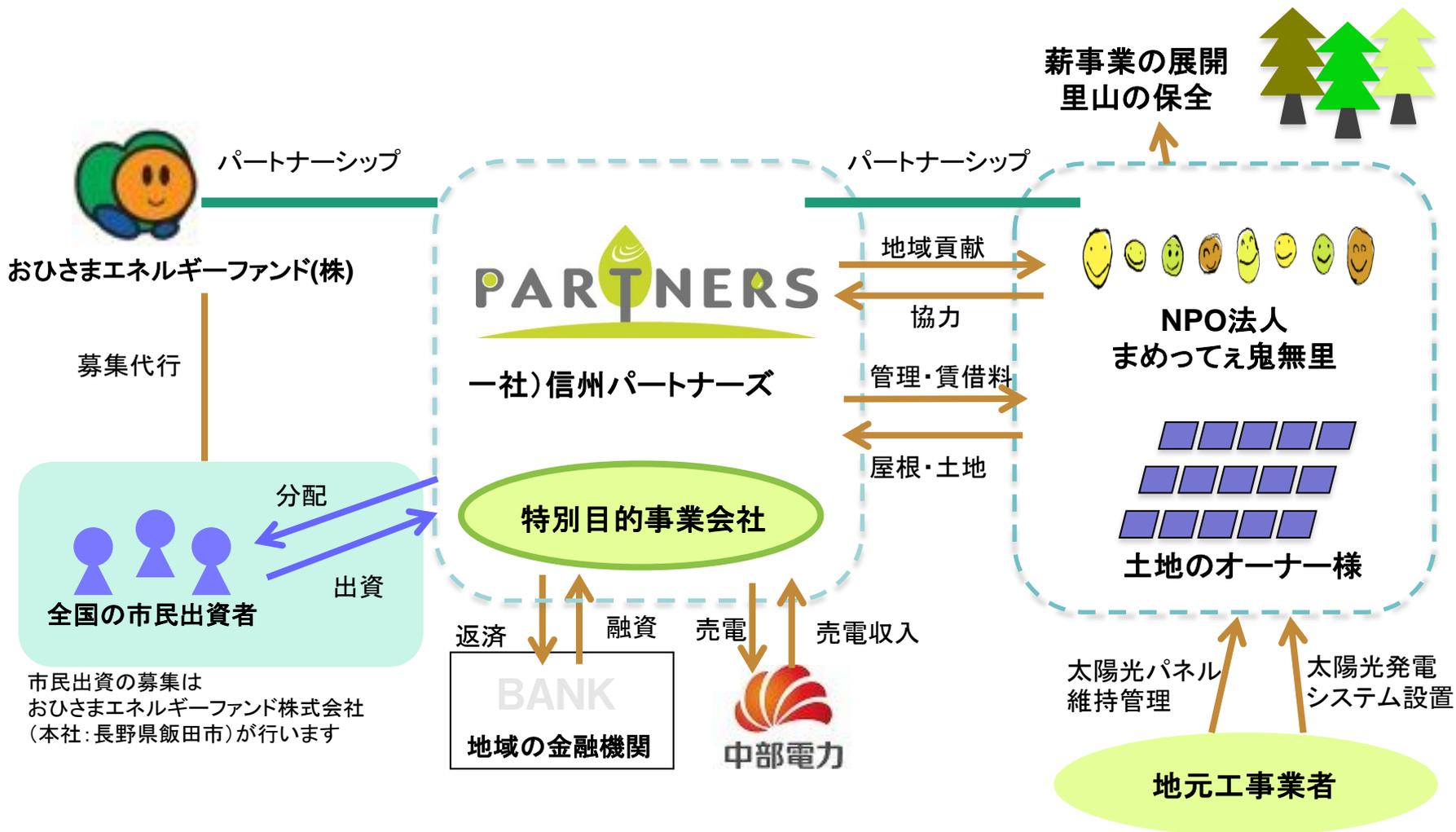
ファンドへの出資金は、自然エネルギーの普及につながります。

出資者からのおひさまファンドへの出資金を元に、太陽光発電を中心とした自然エネルギー設備の導入事業及び自然エネルギー事業を行う営業者への匿名組合出資を行い、事業の収益及び出資の分配金から、出資者に元本の返還と利益を還元する仕組み。

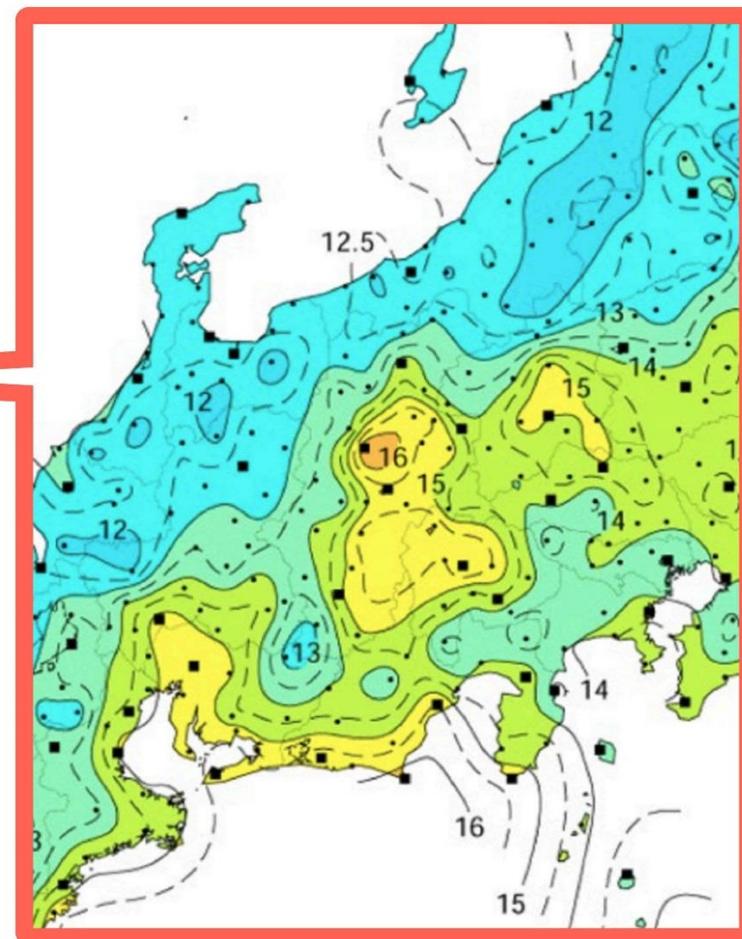
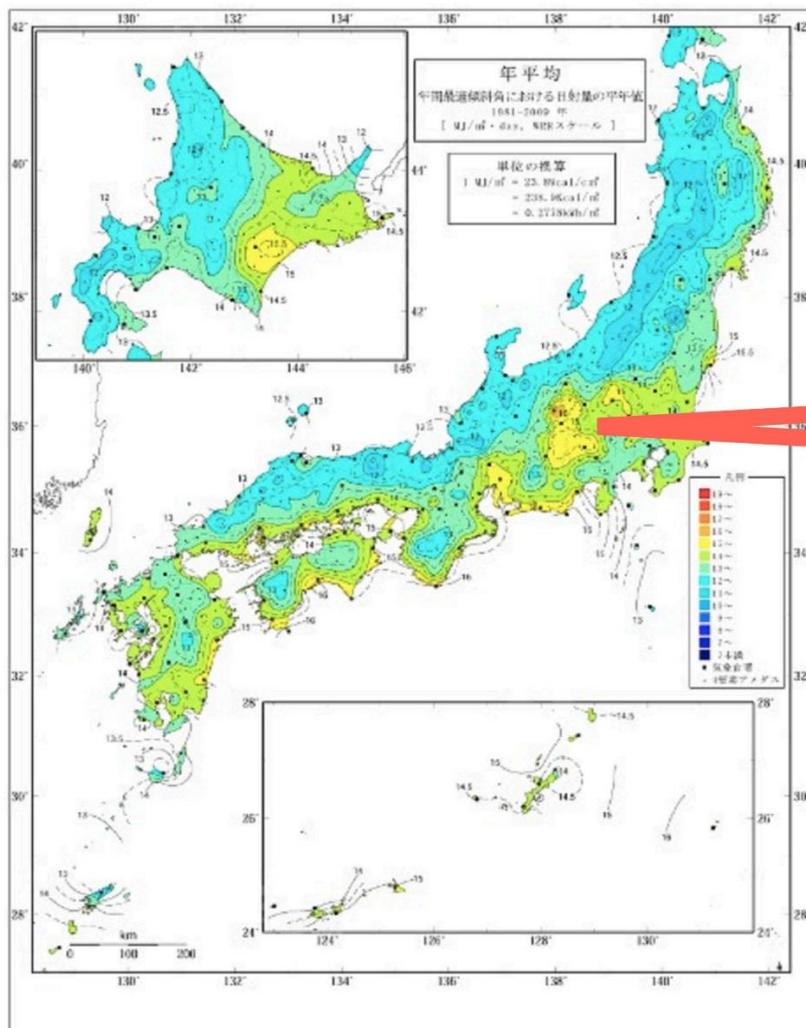


「おひさまファンド」は温暖化を防止し、持続可能な社会を実現するため、市民のお金で日本国内の自然エネルギーを増やす仕組みです。

現在進行中の事例 — 鬼無里地区太陽光発電所 —



長野県の日射量は日本有数、 太陽光発電の適地です！



出典：NEDO日射量マップ 最適傾斜角日射量の地図

<http://app7.infoc.nedo.go.jp/colormap/colormap.html>